

平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要と
南生田小学校における今後の取組について

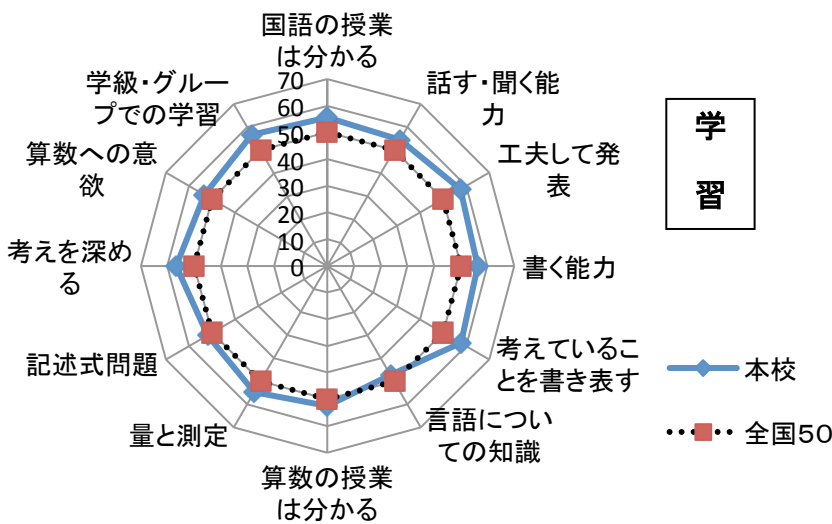
日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

4月19日(火)に6年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の各学校の調査結果が配布されました。調査結果をもとに、本校の学校教育目標ならびに学校経営方針を踏まえ、学校づくりに生かす視点から分析を行い、今後の取組について報告いたします。

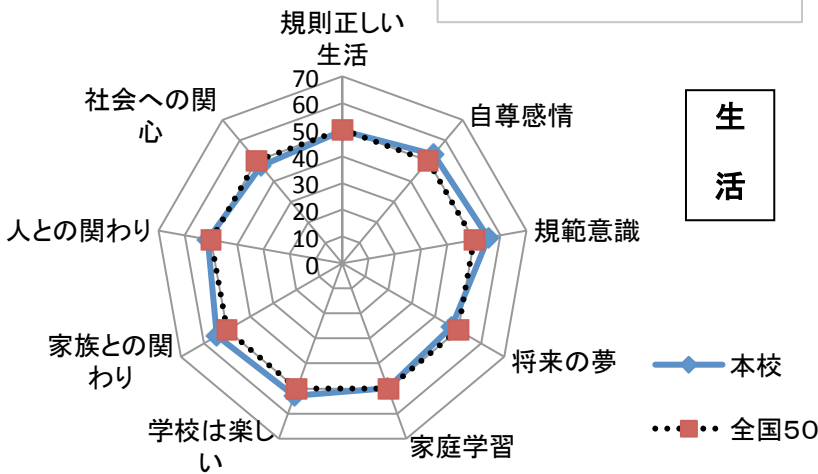
なお、本調査によって測定できるのは学力の特定の一部であり、学校の教育活動の一側面であることが調査の実施要領に示されております。したがって、本資料につきましても、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えいただきたいと存じます。今後も子どもたち一人一人に寄り添った教育活動の推進に努めて参りたいと考えております。

1 調査結果概要

○教科に関する調査につきましては、国語、算数、どの教科も問題によるばらつきはありますが、おおむね全国の正答率に近い状況となっております。また、「国語、算数の授業の内容はよくわかりますか」という質問に対し、当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答した児童の割合は国語：86.3% (80.7%)、算数：82.7% (80.2%) とよい状況と考えています。○生活習慣や学校環境などに関する質問紙調査の結果より、「学校に行くのは楽しい」「学校で友達に会うのは楽しい」94.9% (92%) など、学校での集団生活についてはよい状況といえます。一方で、「将来の夢や目標をもっています」と回答した児童は82.7%と昨年の79.5%よりポイントがアップしていますが、全国平均85.3%をやや下回っており、課題としてとらえています。これからも「キャリア在り方生き方教育」を行う中で、将来の夢や自分のことについて考えさせる活動等に取り組んでいきます。



* 全国の結果を50とし、全国と本校の差を示したグラフです



％の数値は、基本的に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の合計値です。

2 学校教育目標「一人一人の子どもが、心豊かで自らよく遊び、たくましく活躍できる子の育成」の実現に向けた、調査結果を生かした今後の取組

【成果と課題：○ 今後の取組●】

(1) 確かな学力の育成（よく考え、学ぶ子） ()は全国の数値

○「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか」などの質問に対し、回答率 70.9%と全国平均 63.3%を上回っています。話をするとき、自信をもって自分の言葉で考えて表現できるようになっています。

●「言語についての知識・理解・技能」は 68.3% (71.1%) と全国平均をやや下回りました。習得した漢字を文章の中で意識的に使うようにしたり、身近にあるローマ字表記が添えられた案内板やパンフレットを読んだり PC 入力の際に使ったりして指導の工夫を図ります。

○「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」82.7% (81%)、「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」72.6% (67.4%) など、算数に対して意欲的に取り組んでいることがうかがえます。

○●「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」85.1% (80.5%)、「問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書く」94% (84.8%) などそれぞれ昨年度より 10%近く上がり、「分からない問題があるとき、諦めずに方法を考える」と答えた児童も 82.7% (80.2%) と全国平均をやや上回りました。数学的に考えることのよさについて感じながら学習に取り組んでいることがうかがえます。しかし、B 問題における記述式の設問の平均正答率は 28% (26.2%) と全国平均を上回っているものの、まだまだ課題としてとらえています。これからも、現在取り組んでいる算数の校内研究を通して自分の考えをもち、みんなでともに考え、解決していくことを継続的に行っていき、正答を求めめるだけでなく、その意味を考え、表現できる場を意図的に設定していきます。

(2) 豊かな心を育む（心豊かで仲良くする子）

○「学校のきまりを守る」という規範意識 97% (91.5%) や「失敗を恐れなくて挑戦する」「自分にはよいところがある」などの自尊感情 81.4%が全国平均 78.3%より高い結果となりました。委員会や児童会の集会活動等を通して、児童の主体性を伸ばすことが児童に充実感や達成感を感じさせることにつながっていくととらえています。今後も児童の活動の場をとらえ、自分を大切に思う気持ちを育てていきたいと考えています。

○「人が困っているときは、進んで助ける」「友達との約束を守っている」など、人との関わりを大事にしている児童は 94.1% (92.8%)、「家の人と学校での出来事について話をする」「家の手伝いをする」など、家庭の一員としての役割を意識して生活している児童は 85.4% (81%) と良好な状態にあるといえます。「キャリア在り方生き方教育」の推進を通してこれからも社会の一員としての責任をもち、「自分の周りの人たちの思いを大切に」「相手の気持ちになって行動しようとする」ことができる」よう児童の育成に取り組んでいきます。

●「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と答えた児童は 96.5% (96.6%) となっており、昨年度より更に高い割合になっています。かわさき共生* 共有プログラムに全校で取り組み仲間づくりを図ったり、いじめ防止教室を行ったりして、これからも「いじめは絶対にいけない」という指導を徹底していきます。

(3) 健やかでたくましい子を育む（健康でたくましい子）

○「朝食を毎日食べる」「決まった時間に寝たり起きたりする」という規則正しい生活を送っている児童は 88.5%と昨年度 88.3%とほぼ同等で良好な状態といえます。このようなことは学習意欲とも結びつく大切なことととらえています。ご家庭への働きかけに今後も力を入れていくと共に、学級活動や保健体育での指導をこれからも継続していきたいと考えています。

教育委員会より

学校訪問の折に、南生田小の児童の皆さんが意欲的に学習に取り組む姿を拝見いたしました。教職員の日々の授業の工夫が、「授業が分かる」の向上に表れたと考えております。また、様々な活動の場を生かし児童の自己有用感を高めしております。今後はキャリア在り方生き方教育の視点からの取組も期待しております。 多摩区・教育担当